



五月。早くも夏を思わせる日差しが照り付ける中、恒例の全校ピクニックが行われました。春に進級した子どもたちが一堂に集まるこの機会、子どもたちの目を見張るような成長ぶりに、お互いに声を掛け合う親たちの姿があちらこちらで見られました。通学地域ごとに分かれて自己紹介。皆でピクニックランチをいただきながら、そんな大人たちの目線がとて嬉しく温かい、としみじみ感じられるひとときでした。

\*\*\*\*\*

## 『まきばの学校』体験



3年生、9歳という大きな節目に差し掛かるこども達。こどもと周りの世界との関係が、新しい意識的なものになってゆきます。この1年、様々な実体験を積むことになるこども達ですが、その筆頭にきたのが『まきば体験』です。4月25日、手仕事の柳本先生に付き添いいただき、こどもの国に3年生全員集合！しました。

最初に体験するのはバター作りでした。内心『そこは乳しぼりが先でしょう』と思いましたが、衛生管理の観点から、と言われると納得するよりほかありません。しかし、こども達の日常生活から考えると、現実の一番近くにあるのは製品かもしれませんから、バターづくり→牛乳(乳しぼり)→仔牛(えさやり体験)という順番も意識的に取り組むのにはとてもよかったです。

バター作りの工程では絶え間ない攪拌が大事なところですから、協力が欠かせません。3つのグループに分かれたこども達は、それぞれ自主的に順番を決めたり、互いに応援したりして、スムーズに作業を進め、無事にどのグループも美味しいバターが出来上がりました。口に入ったのは少しずつでしたが、心にもたくさん栄養をもらったのでしょう。満足そうな笑顔で牛舎へ。

笑顔で向かったその先には、たくさんの牛たちが待っていました。間近で見る牛は大きく、こども達は緊張感と共に職員さんの話に真剣に耳を傾けます。実際に乳しぼりをさせてもらおうと、そのあたたかさ、柔らかさに触れて、こども達のほっぺたにもほんのり赤みがさします。そして終わった後にはどの子にもほっとしたような安堵の笑顔が浮かんでいました。

仔牛には前のめりになって、大きな大人牛にはちょっと腰を引きながらエサをあげ、羊たちからは、なかなか離れなかったこども達、声をかけられようやく職員さんのもとに集まります。エサをあげていた途中に、木の箱に寄せられてゴトゴトと群れから連れ出された一頭の羊『田中ちゃん』の毛刈りの時間がやってきたのです。田中ちゃんは暴れることもなく、こども達が目を見開いて見つめている前で、みるみるその素肌をさらしてゆきます。その変身ぶりは感動的でした。後にはこざっぱりしたスマートな田中ちゃんと、大きなブランケットのようにつながったふかふかの羊毛。こども達の間から静かな歓声がこぼれます。お願いして、刈りたての田中ちゃんの毛をそのまま少し分けてもらいました。感謝です。



その後、普段、一般の人は入ることのできない堆肥作りの場を見せてもらいました。大量の牛のフンが発酵の段階を経て、栄養たっぷりの堆肥になっていく、それが植物界から再び動物界をめぐり、私たちの生活にも大きな恩恵をもたらすことを、知識からだけでなく実際に五感で感じて学ぶことが出来、大変幸せなことだと思いました。

そして、この体験を、この後、手仕事や農作業を通して、また『くらし』の中に循環させてゆけることがとても楽しみです。

この日の体験は、これからもそれぞれのこども達の中で消化、発酵のプロセスを経て、一生懸命残ってゆくことでしょう。牛乳からバター、羊からウール製品、フンから堆肥といったように、全く別のかたちに変容し、未来の姿にその痕跡を残すかもしれません。そのプロセスを慎重に見守り、手を貸し、寄り添っていきたくと思います。

(3年担任 伊藤雅子)

## 【100周年の集い】

ドイツで始まったシュタイナー教育は、2019年9月19日、100周年を迎えます。

今年の8月には、渋谷区文化総合センター大和田にて、「世界がかわる学び」と題して、持続可能な教育を体験できる3日間のイベントが開催されます。それに先駆け、横浜シュタイナー学園でも、100周年という節目に心を向けた、さまざまな動きが始まっています。5月18日には、教員会が主導となって、子どもも保護者も教員も一緒に楽しめる集いが催されました。

\*\*\*\*\*

横浜シュタイナー学園のNPO総会と運営会議が執り行われた5月18日の午後から、「100周年の集い」と呼ばれる催しがありました。シュタイナー教育を実践するシュタイナー学校創立100周年をみんなで祝いしたいという趣旨の集まりでした。

その時間には子どもたちも参加することができ、十日市場校舎のオイリュトミー室にはたくさんの人が集まりました。

学内の100周年グループを担当する進行役の西尾先生からは、この学園はつくられてから14年目で、14歳なんだよ。そして、シュタイナー学校は世界中にあって、一番最初につくられた学校は100歳になったんだよ、小さな子どもたちにも理解できるように語られました。

西尾先生からバトンタッチを受けた長井先生は、霧ヶ丘校舎がどうやって始まったのか、どんな様子でどんなことをして校舎が作られたのかを、語っていただきました。

文章では当時のことを読んだことはありましたが、直接先生の口から語られるのを聞くことで話がより身近に伝わってきたような気がします。

また、話の中で壁紙のロールの状態のことをトイレトペーパーの形を例として出したり、コンクリートのことを窓から見える石垣を示しながら話したりしているのを聞いていると、ふと低学年の授業はこんな感じなのか、と想像しました。

語られるお話が立体的に立ち上がってくるようにずっと入ってくるので、子どもだけでなく大人によく伝わりました。

そのようにしながら学園の成り立ちをみんなで聞き、100年の内の14年に思いを馳せた後は、校舎の近くにある公園に移動して横山先生のしきりの元、大人も混じって数字の「100」にまつわるゲームをして楽しみました。



そして、そこにいた全員が7グループに分かれて「100ヨコハマ」という人文字を作り、写真撮影をしました。

4年生の娘に人文字の感想をたずねてみたところ、「一番簡単だったはずなのに、(グループの)人が多すぎて"1"を作るのが難しかった」のだそうです。

100周年の集いの締めくくりに、「次は200歳のお祝いの時にまたお会いしましょう」と西尾先生のジョークが飛びました。しかし、私たちの想いが子どもたちの中に残り、それがまた次の世代へと受け継がれていくのなら…、「100年後にも私たちの意志は存在し、そこにいる」とも言えるかもしれません。

午前中のNPO総会で、運営委員に立候補した方が「この学園が存在していることは奇跡だと思う」と、おっしゃいました。

100年後、シュタイナー学校が日本で存在することが「奇跡」ではなく、「当たり前」である世の中となっているといいなと思います。そのためにも、私たち保護者は諸先輩方からこの学園への想いを受け継ぎ、バトンを大切に抱えて運んでいる最中であるように思います。

今、ここで、このメンバーで、その役目を担っていることに偶然はないはずだと私は思います。学園を創立するために尽力くださったみなさんに感謝と敬意を忘れずに、100年後に想いをつなげられるよう、今精一杯のことをやっていこうと思えた一日でした。

(1,4年保護者 松山周子)



## 【シュタイナー学校を知りたい!“親子オイリュトミー”】

5月12日(日)に、シュタイナー学校が大切にしていること、授業の様子などを実際に体験していただく連続講座、「シュタイナー学校を知りたい!」の第一回目を開催しました。この日は、親子体験「オイリュトミー」を、年中～小学校2年生までの親子を対象に行ないました。参加者のレポートをお届けします。

.....



### 「娘と体験、オイリュトミー」

連続講座“シュタイナー学校を知りたい”の2019年度の第1回目、親子で体験「親子オイリュトミー」に参加しました。

普段2年生のお兄ちゃんが通う学校と一緒にいることがある4歳の娘ですが、今日は自分が参加すると聞いて、若干緊張の面持ちで入口のドアを開けました。

受付でオイリュトミー担当の猿谷先生からオイリュトミーシューズを受け取り、勢い余って3Fのオイリュトミー室に直行してしまいましたが、誰もいない部屋で異変を感じ1Fのおひさまの部屋に戻り、無事参加者の皆さんと合流しました。

皆で手をつなぎオイリュトミー室に移動し、親子全員で輪になり、毛糸のボールを別の誰かに向けて転がします。ボールは最初1つですが、2つになり、3つになり、子どもたちの歓声があがります。ウォーミングアップしたところで、オイリュトミーの動きに入っていきます。先生の言葉に合わせ、頭の前から、つま先まで、体を動かしていきます。手の動き、足の動きに始まり、ジャンプ、ジャンプ。「今日は幼児向けのオイリュトミーですよ。」と猿谷先生。これがかなりの運動量で、子どもたちは上手に先生の真似をしていき、大人たちは何とか付いていきました。でも、子どもたちは(大人たちも)楽しそうでした。

ここからは、大人のお話の時間です。子どもたちは、おひさまの部屋に戻ります。

足は、心臓からも遠く、冷えてしまう。けれども、足は第二の心臓とも言われ、血液を上に戻すという大切な役割を果たしているため、足を温めると身体

が温かくなるとのこと。ということで、さっそく体験。湯たんぽに足を乗せて動かすと、、、これが実に心地よい(文字で、心地よさをお伝えできないのが残念!)。当日は汗ばむ気温で室内はクーラーを使用していましたが、夏でも足を温めるとよいそうです。現代は体温を下げてしまうようなことが多いため、身体を温めることで、花粉症などのアレルギーに負けない健康な身体になるとのことでした。

5年生教室に移り、参加者の質問コーナーとなりました。

シュタイナー教育では、子どもたちの「なぜなのか」を追求し、実感を持たせる学びを実践しますが、自分も森羅万象の一部であり、宇宙の一部であると感じることが、心と身体を一致させるオイリュトミーにも通じることでした。その後、シュタイナー教育や学園の紹介や、参加者の方々からの学園への質問に対し、先生方や保護者が答え、様々な意見が交わされました。

猿谷先生曰く、「オイリュトミーとは何か?」を言葉で説明するのは難しいとのことでした。私は月例祭のオイリュトミー発表、修了の会の9年生のダイナミックな卒業オイリュトミーを見ており、多少は知っているつもりでいましたが、体験とは大違いでした。言葉の意味を感じながら身体を動かすことで、気持ちも温かくなっていくのを感じました。

「手や足など身体を使って、言葉を表現していく舞踏芸術」と聞くよりは、百聞は一見に如かず、いや、百見は一体験に如かずです。この記事を読まれていて、オイリュトミー未体験の方は是非やってみることをお勧めします!

(2年保護者 本橋篤)

### オイリュトミーを体験できる

「大人のオイリュトミー」講座を開催しています。

日程: 5/13、6/3、7/1、9/30、10/21、

11/11、1/20、2/3

「シュタイナー学校を知りたい!」「大人のオイリュトミー」の詳細は、学園サイトをご覧ください。

# インフォメーション

～詳細やお申込方法については学園サイトをご覧ください～

## 2020 年度入学説明会

【A】「シュタイナー教育とは」「教育内容について」

【B】「保護者の学園への関わりについて」

※A→Bの順で両方の回に必ずご出席ください。

6/22 (土) 入学説明会 A

6/29 (土) 入学説明会 B

9/14 (土) 入学説明会 A

9/21 (土) 入学説明会 B

9/22 (日) 入学説明会 A

9/29 (日) 入学説明会 B

詳細は学園 WEB サイトをご覧ください。

## 2019 オープンデイ&学園祭 「今こそ、教育をえらぼう」

6月15日(土) 10:00～15:00

日頃、当学園で行っている教育や教室の様子、子どもたちの作品などを公開する『オープンデイ』を霧が丘校舎にて開催します。

十日市場校舎では高学年による『学園祭』を同時開催します。学園祭は、すべて7,8,9年生による手作りの企画です。

ぜひ、両校舎ともに足を運んでみてください。

詳細は、学園 WEB サイトをご覧ください。



## 連続講座

### シュタイナー学校を知りたい！②

大人のための体験講座 I

低学年編 A 「九九(かず)」

B 「音楽」

日時：2019年7月7日(日) 10:00～12:00

会場：霧が丘校舎

### シュタイナー教育を知りたい！③

大人のための体験講座 II

高学年編 「幾何学」

日時：2019年7月7日(日) 13:30～15:30

会場：十日市場校舎

参加費：1回/1,500円(NPO会員 1,300円)

定員：各20組

お申し込みは学園事務局までお願いいたします。

## シリーズ建築講座

### 「未来を作る建築と心」

日時：第1回 7月2日(火)

第2回 11月12日(火)

時間：10:00 - 12:00

会場：霧が丘校舎(おひさまの部屋)

参加費：一般2000円 / NPO会員1500円

お申し込みは学園事務局までお願いいたします。

お問合せ、お申込み先

横浜シュタイナー学園事務局

Tel&Fax: 045-922-3107 e-mail: [gakuen-info@yokohama-steiner.jp](mailto:gakuen-info@yokohama-steiner.jp)

【会費・ご寄付等お振込先】

郵便振替： 00260-0-130702

加入者名：特定非営利活動法人横浜シュタイナー学園

ゆうちょ銀行：店番029 支店名029店(ペロキウ店) 当座013702

ご支援ありがとうございます。  
大切に活用させていただきます。  
(順不同・敬称略)

◎ よこはま夢ファンドを通してのご支援  
2018年10月1日～31日の期間  
小林淳志、千原遠見彦、中島憲次、森一俊  
オーガニック・マネジメント・コンサルティング(株)

2018年12月1日～31日の期間  
尾上浩一、峰尾芳男、亀山稔史、山口徳行、  
最上重夫、最上真理子

◎ ご寄付  
保育グループ、6期生保護者、星の金貨、新富雄、峯三工子、  
てくてくこびと

心より感謝申し上げます。

横浜シュタイナー学園

～Newsletter 第121号～

2019年5月28日発行

編集： 広報の会

発行： NPO法人 横浜シュタイナー学園

<https://yokohama-steiner.jp>

〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3丁目1-20

TEL/FAX 045-922-3107

※ 掲載内容の無断転載をお断りします